

森づくり最前線

天竜森林管理署

瀬尻森林事務所
森林官 福田 國之



人工林率97%を誇る瀬尻国有林
(FSC森林認証林)

天竜川流域に最初に造林が行われたのは室町時代ですが、「今日の天竜林業の祖」とされているのが、金原明善翁です。翁が天竜川の相次ぐ氾濫に心を痛め「河ヲ治ムルハ、山ヲ治ムルニ有リ」とし

て、龍山村瀬尻を中心に私財を投げ打って約二〇〇haの植林を行ったことが今日の天竜美林への原動力になったと言われています。

私が管理する森林はわずか一四〇〇ha程度ですが、人工林が驚愕の97%を占め、木材生産地あり、新植地あり、展示林あり、保護林ありとコンパクトながらもバラエティに富み、かつ過疎・高齢化問題を抱える山間地域が故に、地域住民との濃密な接触が自慢の魅力いっぱいなのです。



金原明善翁と
瀬尻スギ展示林 (130年生)

また、瀬尻国有林は関東局管内で唯一FSC森林認証を取得するなど、ますます林業地としての価値を高めています。平成29年には浜松市が「林業成長産業化地域創出モデル事業」に指定されたこともあり、天竜地域では今後FSC森林認証をベースに、素材生産量の拡大や木材の安定供給体制の確立、天竜材製品の生産・販売量の拡大、新規雇用の創出等を進めていくこととしており、森林を管理する最前線基地の担当者として苦

勞を惜しまず全力を挙げて業務に取り組んでいるところです。

このように林業活動が盛んな地域ですが、管内には静岡県産の天然記念物に指定されているホソバシヤクナゲが自生しており、毎年5月中旬になると綺麗な花を咲かせ、見る人の心を和ませてくれます。一帯は保護林に指定されていますが、長年、上層木の繁茂による光環境の悪化で樹勢の衰えが心配されていましたが、平成28年に上層木を間伐したことでよりホソバシヤクナゲの光環境の改善に成功し、昨年は多くの花を咲かせています。今年も楽しみにしています。

着任してもうすぐ2年になりますが、山仕事の奥深さに日々圧倒されています。歴史に甘んじることなく様々な取り組みを行っているこの地で働くことが出来る喜びと誇りを胸に、地域に貢献できるような森づくりを進めていきたいと思っています。



天竜川沿いに広がる人工林



瀬尻森林事務所
福田森林官



「ホソバシヤクナゲ」
静岡県指定の天然記念物

発行所 関東森林管理局
編集総務課
TEL(027)210-1158
FAX(027)230-1363